



2015年度決算

KOBELCO



2016年4月28日
株式会社神戸製鋼所
代表取締役副社長執行役員
梅原 尚人



報告事項

1. 2015年度決算
2. 2013~2015年度中期計画の総括
3. 2016年度業績見通し
4. 財務の状況
5. 参考情報



1. 2015年度決算



ECOWAY

2015年度 実績

(単位：億円)

	2014年度	2015年度		差異	
	実績 ①	2月公表 ②	実績 ③	対前年 ③－①	対2月 ③－②
売上高	18,868	18,400	18,228	△640	△172
営業損益	1,194	650	684	△510	+34
経常損益	1,016	250	289	△727	+39
(在庫評価影響を除く)	(1,081)	(430)	(469)	(△612)	(+39)
特別損益	26	△397	△395	△421	+2
親会社株主に帰属する 当期純損益	865	△200	△215	△1,081	△15



ECO WAY

2015年度 セグメント別 売上高

(単位：億円)

売 上 高	2014年度	2015年度		差異	
	実績 ①	2月公表 ②	実績 ③	対前年 ③ - ①	対2月 ③ - ②
鉄 鋼	7,978	7,350	7,425	△552	+75
溶 接	944	910	922	△22	+12
アルミ・銅	3,308	3,500	3,454	+146	△46
機 械	1,591	1,710	1,590	△1	△120
エンジニアリング	490	510	487	△3	△23
神鋼環境ソリューション	681	845	830	+148	△15
コベルコ建機	3,110	2,700	2,717	△392	+17
コベルコクレーン	711	750	727	+16	△23
そ の 他	760	740	745	△15	+5
調 整 額	△707	△615	△ 673	+34	△58
合 計	18,868	18,400	18,228	△640	△172



ECO WAY

2015年度 セグメント別 経常損益

(単位：億円)

経常損益	2014年度	2015年度		差異	
	実績 ①	2月公表 ②	実績 ③	対前年 ③ - ①	対2月 ③ - ②
鉄 鋼	287	60	36	△251	△24
溶 接	102	80	81	△21	+1
アルミ・銅	151	150	151	±0	+1
機 械	104	65	67	△36	+2
エンジニアリング	7	5	10	+2	+5
神鋼環境ソリューション	30	33	36	+6	+3
コベルコ建機	210	△160	△ 144	△355	+16
コベルコクレーン	51	20	24	△27	+4
そ の 他	70	70	73	+2	+3
調 整 額	0	△73	△ 47	△47	+26
合 計	1,016	250	289	△727	+39



2. 2013~2015年度 中期計画の総括



ECO WAY

【財務実績】

(単位：億円)

**2015年度
目標^{※1}**
2013年度
2014年度
2015年度
売上高

--

1兆8,246億円
1兆8,868億円
1兆8,228億円
経常損益
**800~
1,000億円**
850億円
1,016億円
289億円
**親会社株主に帰属
する当期純損益**

--

701億円
865億円
△215億円
D/Eレシオ
**1.3倍
(早期に1.0倍実現)**
1.11倍
0.88倍
1.10倍^{※4}
ROA^{※2}

--

3.8%
4.4%
1.3%
ROE^{※3}

--

11.9%
12.0%
△2.9%

※1：2013年5月29日時点の目標

※2：経常損益/総資産

※3：親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本

 ※4：2016年度分借入金の前倒し調達（900億円）含む
前倒し調達除く2015年度D/Eレシオ 0.97倍



3. 2016年度業績見通し



ECO WAY

2016年度 業績見通し

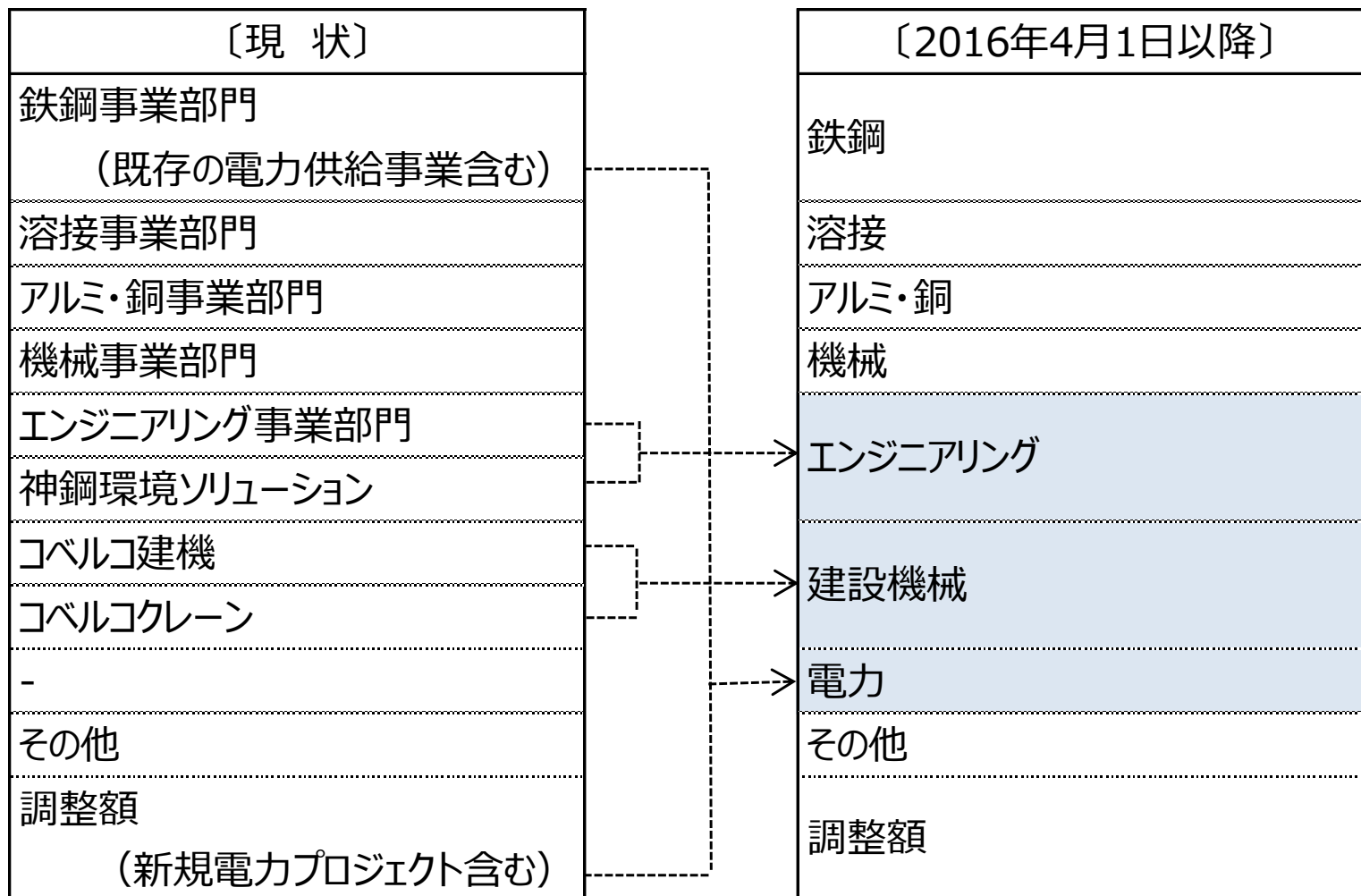
(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	対前年 ② - ①
売上高	9,286	8,941	18,228	8,600	8,900	17,500	△728
営業損益	470	213	684	250	400	650	△34
経常損益	330	△41	289	100	250	350	+61
(在庫評価影響を除く)	(405)	(64)	(469)	(190)	(270)	(460)	(△9)
特別損益	△94	△300	△395	0	0	0	+395
親会社株主に帰属する 当期純損益	134	△349	△215	50	150	200	+415



ECO WAY

業績報告セグメントの変更





ECO WAY

2016年度 セグメント別 売上高（新報告セグメント）

(単位：億円)

売上高	2015年度			2016年度			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	対前年 ② - ①
鉄 鋼	3,385	3,272	6,658	3,000	3,100	6,100	△558
溶 接	466	455	922	430	430	860	△62
アルミ・銅	1,783	1,670	3,454	1,650	1,650	3,300	△154
機 械	812	777	1,590	760	850	1,610	+20
エンジニアリング	574	743	1,317	510	750	1,260	△57
建設機械	1,812	1,549	3,362	1,700	1,650	3,350	△12
電 力	388	378	767	360	360	720	△47
そ の 他	357	388	745	320	440	760	+15
調 整 額	△294	△294	△589	△130	△330	△460	+129
合 計	9,286	8,940	18,228	8,600	8,900	17,500	△728



ECO WAY

2016年度 セグメント別 経常損益（新報告セグメント）

(単位：億円)

経常損益	2015年度			2016年度			差異 対前年 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
鉄 鋼	△12	△137	△149	△100	△60	△160	△11
溶 接	43	38	81	35	35	70	△11
アルミ・銅	94	56	151	60	80	140	△11
機 械	28	39	67	25	15	40	△27
エンジニアリング	26	20	46	△10	40	30	△16
建設機械	19	△139	△119	40	40	80	+199
電 力	81	93	174	70	70	140	△34
そ の 他	33	40	73	15	60	75	+2
調 整 額	16	△52	△36	△35	△30	△65	△29
合 計	330	△41	289	100	250	350	+61



ECO WAY

余 白



ECO WAY

【鉄鋼】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異 年度 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	3,385	3,272	6,658	3,000	3,100	6,100	△558
経常損益	△12	△137	△149	△100	△60	△160	△11
(内 在庫評価影響)	(△75)	(△70)	(△145)	(△60)	(△10)	(△70)	(+75)

※2015年度業績は新報告セグメントベースへ組替え

2016年度の状況

- 収益改善策を実施する事に加え、在庫評価のマイナス影響が縮小し、原料権益投資に係る評価損が無くなる一方、加古川製鉄所の高炉改修、上工程集約に係るコスト増等の一時的な要因により減益を見込む。
- 自動車向けの需要は国内外共に徐々に回復すると想定。



ECOWAY

【鉄鋼】生産・販売状況

	2014年度			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
全国粗鋼 (万t)	5,556	5,429	10,985	5,207	5,211	10,418
全国在庫水準 (万t)	593	584	--	579	570	2月末
薄板3品在庫水準 (万t)	431	431	--	421	417	2月末
国内自動車生産台数 (万台)	478	481	959	445	385	10-2月計

<当社>

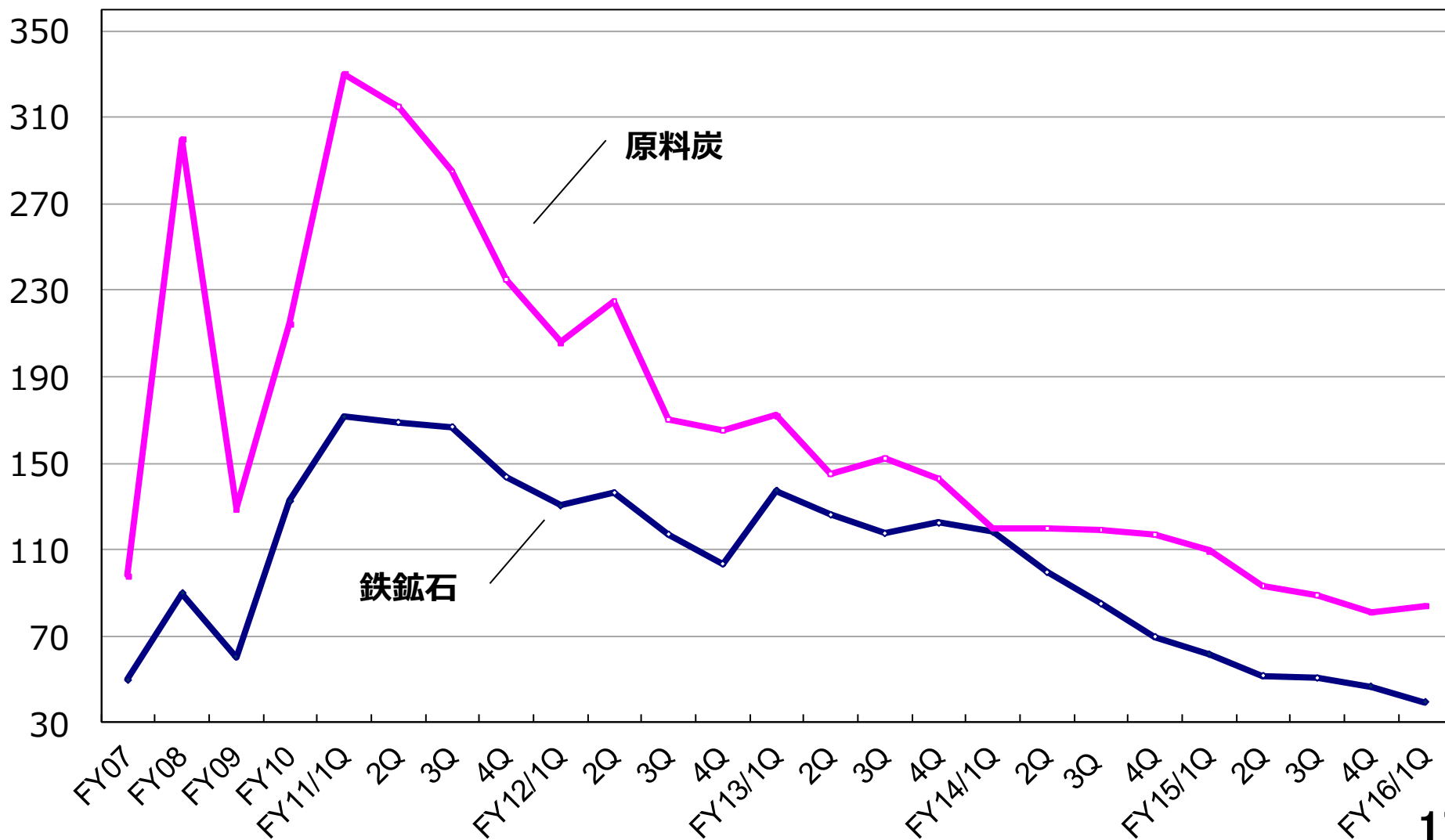
粗鋼生産 (万t)	367	381	748	367	381	748
鋼材販売量 (万t)	294	311	605	297	303	600
(内国内)	(205)	(212)	(417)	(197)	(211)	(408)
(内海外)	(89)	(99)	(188)	(100)	(93)	(193)
鋼材販売単価 (千円/t)	82.4	81.0	81.7	78.7	71.8	75.2
鋼材輸出比率 (金額ベース)	30.6%	33.5%	32.1%	34.2%	30.0%	32.2%



ECO WAY

【鉄鋼】鉄鉱石と原料炭（強粘炭） 価格推移

(単位：\$/トン)

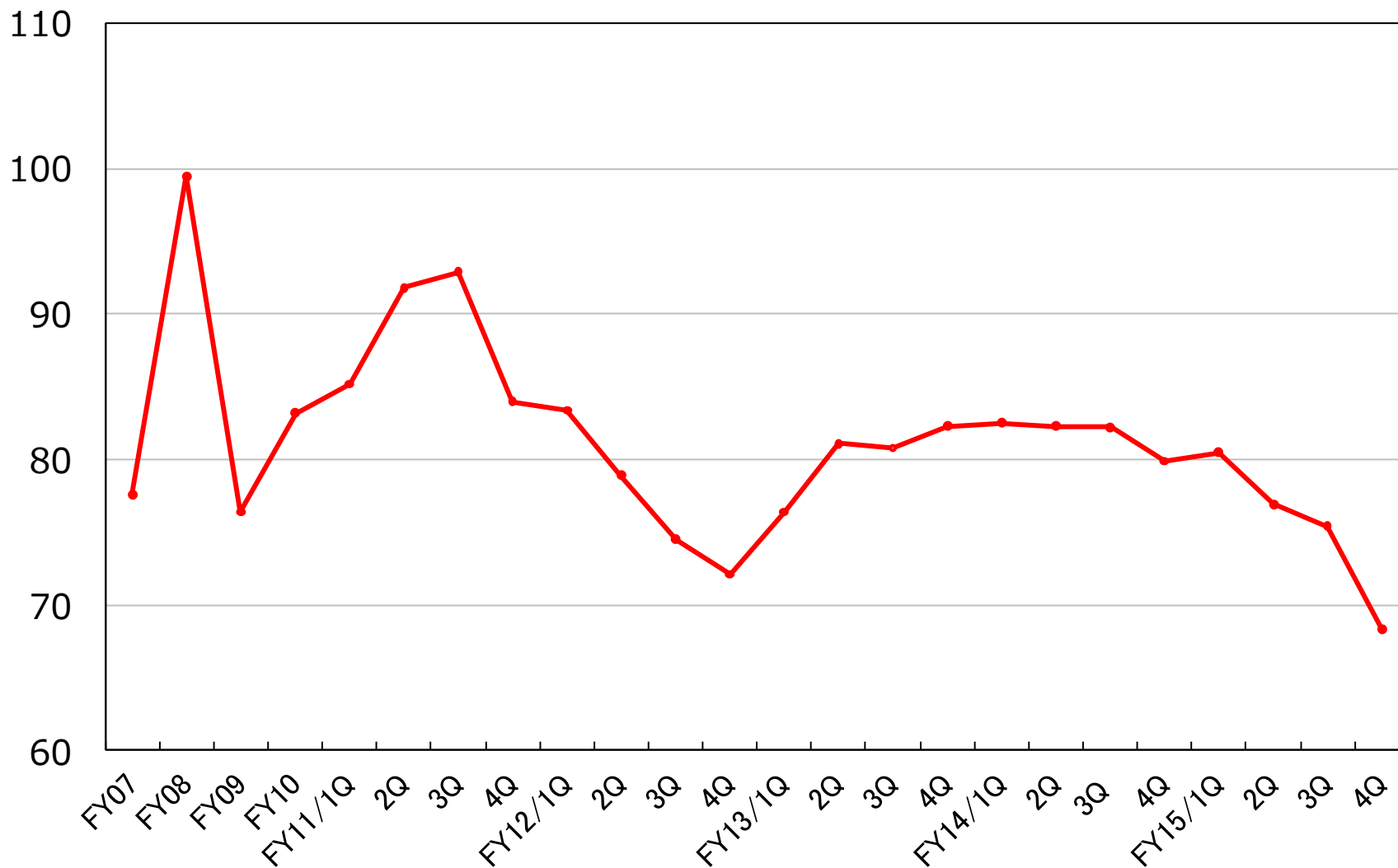




ECO WAY

【鉄鋼】鋼材単価の推移

(単位：千円/トン)





ECO WAY

【溶接】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異 年度 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	466	455	922	430	430	860	△62
経常損益	43	38	81	35	35	70	△11

<当社の販売状況>

(単位：千t)

	2014年度			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
国内	67	68	135	66	63	129
海外	95	92	187	87	87	174
合計	162	160	322	153	150	303

2016年度の状況

- 国内向けの溶接システム販売は堅調に推移する一方、溶接材料は、中国、東南アジアにおける景気減速、原油安の影響等により、減益を見込む。



ECO WAY

【アルミ・銅】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異 年度 ②－①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,783	1,670	3,454	1,650	1,650	3,300	△154
経常損益	94	56	151	60	80	140	△11
(在庫評価影響)	(0)	(△35)	(△35)	(△30)	(△10)	(△40)	(△5)

<当社の販売状況>

(単位：千t)

	2014年度			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
アルミ圧延品 国内	125	126	251	140	137	277
輸出	29	36	65	33	36	69
銅板条	27	27	54	25	24	49
銅管	45	40	85	42	43	85

2016年度の状況

- アルミ圧延品を中心に需要、販売ともに堅調に推移する一方、在庫評価のマイナス影響、中国アルミパネル生産拠点の立上げに伴う費用負担により減益を見込む。



ECO WAY

【機械】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ②－①
売上高	812	777	1,590	760	850	1,610	+20
経常損益	28	39	67	25	15	40	△27
受注高	736	668	1,404	—	—	1,500程度	--

2016年度の状況

- 原油安を背景とした石油精製業界向け圧縮機、エネルギー機器の需要低迷により、特に北米の子会社において昨年度の受注高が大幅に減少したことが減益の主な要因。



ECOWAY

【エンジニアリング】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異 年度 ②－①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	574	743	1,317	510	750	1,260	△57
経常損益	26	20	46	△10	40	30	△16
受注高	891	400	1,291	—	—	1,400程度	--

※2015年度業績は新報告セグメントベースへ組替え

2016年度の状況

- 2015年度に大型廃棄物処理施設の収益を計上した事等が減益の主な要因。
- 海外の還元鉄プラント受注は一部地域を除いて依然として低調。国内の廃棄物や水処理関連事業で一定量の受注を見込む。



ECO WAY

【建設機械】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異 年度 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,812	1,550	3,362	1,700	1,650	3,350	△12
経常損益	19	△138	△119	40	40	80	+199

※2015年度業績は新報告セグメントベースへ組替え

2016年度の状況

- 前年度のような油圧ショベル事業の多額の貸倒引当金計上を想定していない事、クレーン事業での機種構成の大型化等が主な増益要因。
- 中国における油圧ショベルの事業環境は引き続き厳しいものと想定。事業の健全化や収益力強化に向けた構造改革を実行。



ECO WAY

【電力】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異 年度 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	388	379	767	360	360	720	△47
経常損益	81	93	174	70	70	140	△34

※2015年度業績は新報告セグメントベースへ組替え

2016年度の状況

- 神戸の既存IPP事業は従来並の利益水準を想定する一方、本社費の負担や新規IPP事業の先行費用等を織込み、140億円の利益を見込む。



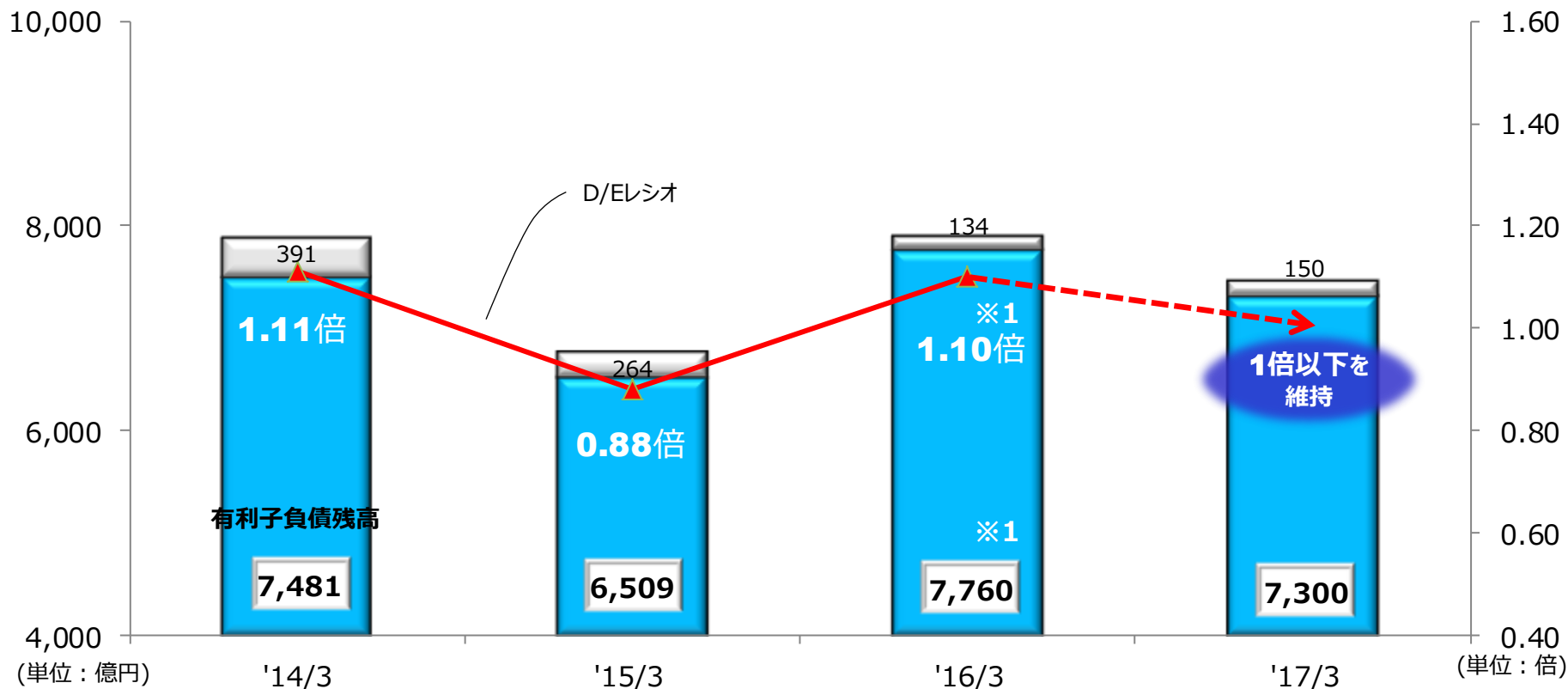
4. 財務の状況



ECO WAY

【財務の状況】

☐ : プロジェクトファイナンス



※1 : 2016年度分借入金の前倒し調達 (900億円) 含む
前倒し調達除く2015年度D/Eレシオ 0.97倍



ECO WAY

【フリーキャッシュフロー】

(単位：億円)

	2015年度			2016年度			差異 年度 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
営業キャッシュフロー	488	370	858	750	750	1,500	+642
投資キャッシュフロー	△310	△728	△1,038	△800	△850	△1,650	△612
プロジェクトファイナンス除く フリーキャッシュフロー	177	△357	△180	△50	△100	△150	+30
プロジェクトファイナンス 返済原資	41	72	113	0	50	50	△63
プロジェクトファイナンス含む フリーキャッシュフロー	218	△285	△67	△50	△50	△100	△33
プロジェクトファイナンス除く 現金残高	1,150	1,685		1,100	800		△885



ECO WAY

【財務指標】

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
R O S ※1	4.7%	5.4%	1.6%	2.0%
1株あたり当期純利益	22.62円	23.81円	△5.93円	5.50円
D / E レ シ オ	1.11倍	0.88倍	※2 1.10倍	1倍以下
R O A ※3	3.8%	4.4%	1.3%	1.5%
R O E ※4	11.9%	12.0%	△2.9%	2.8%

※1：売上高経常利益率

※2：2016年度分借入金の前倒し調達（900億円）含む
前倒し調達除く2015年度D/Eレシオ 0.97倍

※3：経常損益/総資産

※4：親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本



5. 参考情報



ECO WAY

【設備投資の状況】

(単位：億円)

	2013年度	2014年度	2015年度 ①	2016年度 ②	差異 ②－①
設備投資<計上>	1,014	1,035	1,099	1,900	+801
対減価償却費	122%	115%	116%	190%	+74%
設備投資<支払い>	954	953	991	1,700	+709
対減価償却費	115%	106%	105%	170%	+65%
減価償却費	829	898	948	1,000	+52



ECO WAY

全社 差異内訳 (2014年度 ⇒ 2015年度)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	461	555	1,016	330	△41	289

△ 727

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 835	生産・出荷	△ 680
		総コスト	△ 105
		鉄鋼在庫評価影響	△ 65
		アルミ・銅在庫評価影響	△ 50
		鉄鋼為替影響	△ 115
		連結子会社・持分法	△ 400
		その他	△ 147
合計	+ 835	合計	△ 1,562



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳 (2014年度 ⇒ 2015年度)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	104	183	287	75	△39	36

△ 251

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 835	生産・出荷	△ 675
		総コスト	△ 85
		在庫評価影響	△ 65
		為替影響	△ 115
		その他	△ 146
合計	+ 835	合計	△ 1,086



ECO WAY

全社 差異内訳 (2015年度 2月公表 ⇒ 実績)

(単位：億円)

	2015年度 (2月公表)			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	330	△80	250	330	△41	289

+ 39

増益要因			減益要因		
生産・出荷	+	40	総コスト	△	50
原料価格	+	20	鉄鋼為替影響	△	10
鉄鋼在庫評価影響	±	0			
アルミ・銅在庫評価影響	±	0			
連結子会社・持分法	+	5			
その他	+	34			
合計	+	99	合計	△	60



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳 (2015年度 2月公表 ⇒ 実績)

(単位：億円)

	2015年度 (2月公表)			2015年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	75	△15	60	75	△39	36

△ 24

増益要因			減益要因		
生産・出荷	+	35	総コスト	△	35
原料価格	+	20	為替影響	△	10
在庫評価影響	±	0	その他	△	34
合計	+	55	合計	△	79



ECOWAY

全社 差異内訳 (2015年度 ⇒ 2016年度)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	330	△41	289	100	250	350

+ 61

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 305	生産・出荷	△ 465
鉄鋼在庫評価影響	+ 75	総コスト	△ 20
連結子会社・持分法	+ 175	アルミ・銅在庫評価影響	△ 5
鉄鋼為替影響	+ 10	その他	△ 14
合計	+ 565	合計	△ 504



ECOWAY

鉄鋼 差異内訳 (2015年度 ⇒ 2016年度)

(単位：億円)

	2015年度			2016年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△12	△137	△149	△100	△60	△160

△ 11

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 305	生産・出荷	△ 465
総コスト	+ 20		
在庫評価影響	+ 75		
為替影響	+ 10		
その他	+ 44		
合計	+ 454	合計	△ 465



ECO WAY

2013~2015年度中期経営計画「経営基盤の再構築」に向けた施策

鉄鋼事業の収益力強化

2015年度効果額（2012年度比）

取り組み	実績	(目標)
設備投資効果	420億円	600億円
生産現場レベルでのコスト削減		
原料コスト改善		
固定費削減他		

財務体質の改善

2013~2015年度累計額

取り組み	実績	(目標)	
キャッシュ 創出策	1,800 億円	1,200 億円	
			たな卸資産の削減
			債権流動化の推進
			資産売却
投資の厳選			



ECOWAY

2013～2015年度中期経営計画「安定と成長への布石」としての施策

鉄鋼事業の構造改革

<上工程設備の集約>

- ◆ 2017年度に上工程設備を加古川製鉄所に集約
 - ・設備発注、現地工事など全体的に予定通り進捗
 - ・上工程変更に伴い必要となる需要家の承認取得を推進

<更なるコストダウン投資の実施>

- ◆ 溶銑処理能力の更なる増強（脱りん炉2基目）を決定、推進

成長分野・地域での販売量確保に向けた素材系事業の新規投資

- ◆ 中国に自動車冷延ハイテン鋼板の製造・販売合併会社設立
- ◆ タイに特殊鋼線材の製造・販売合併会社設立
- ◆ 中国に自動車パネル用アルミ板の製造・販売会社設立
- ◆ 米国で自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の生産能力増強実施

機械系事業の戦略的拡大

- ◆ 北米に建設機械工場（油圧ショベル）を建設
- ◆ 大型ターボ圧縮機用試運転棟建設を決定、推進
- ◆ 水素ステーション総合テストセンターの新設
- ◆ 圧縮機の営業拠点をグローバルに拡充（ブラジル・インド・タイ）

電力供給事業の拡大

- ◆ 栃木県真岡市、神戸製鉄所の高炉跡地において新規発電所の建設推進（ともに環境アセスメント継続実施中）



企業理念

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

以上の理念の下、グループ全体としての企業価値を向上させます。



将来見通しに関する注意事項

- **本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。**
- **上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。**
 - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - 為替相場の変動
 - 原材料の Availability や市況
 - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化